



筑上町社会福祉協議会

No.89

2024(令和6年).1.1

社協だより

謹言
新年の
お慶びを
申し上げます

2024 辰



2023年11月26日(日)は築城基地航空祭でした。
今年も晴天でブルーインパルスも青空によく映っていました。



#CHIKUJIYO_SHAKYO2021



この機関紙は、赤い羽根共同募金の配分金の一部で作成しました。



社会福祉法人
築上町社会福祉協議会
会長 中村 信雄

新春のお慶びを 申し上げます

社会福祉協議会は、戦後の昭和26年に、民間の社会福祉活動を強化するため、「社会福祉法（昭和二十六年三月二十九日法律第四十五号）」第109条に規定され全国都道府県単位に設立し、その後市区町村単位にも設立された民間の社会福祉団体です。

通常は「社協」と呼ばれ、「地域福祉を推進する中心的な役割を持つ組織」として位置づけられ、全国を結ぶ「公共性」と、民間組織としての「自主性」という二つの側面を併せ持っています。

「誰もが安全で安心して暮らせる あたためたい福祉のまちづくり」を目指して、地域住民の皆さんと一緒に地域福祉活動を実践しています。

築上町社会福祉協議会は、包括的支援体制のまちづくりを目指し、困りごとの解消に対応するため、生活支援体制整備事業の補助

金を活用しながら、町民皆様のご協力を得てネットワークを整備します。

◆前年の経過◆

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが、5月8日から季節性インフルエンザなどと同じ

「5類」に移行しました。法律に基づいた外出自粛の要請などはなくなり、感染対策は個人の判断に委ねられるなど大きく緩和されました。

物価高や円安が進み、給料は少し上がりそうですが、国民生活は相変わらず厳しい状態が続いております。

※今年度復活した催事※

- ふれあいフェスティバル
- 赤い羽根共同募金街頭募金活動
- 子どもフェスティバル（夏）

一部縮小も有りましたが、ほとんどの行事を行うことができ、規制前の状態に戻ることができました。沢山の皆様方のご協力をいただき、実施することができました。ここに、厚くお礼を申し上げます。

◆新年の抱負◆

コロナ禍の規制が緩和され、職員体制の見直しも軌道に乗ってきました。

職員一同、力を合わせより良いサービスを目指します。

○椎田社会福祉センター

（自愛の家）改修

一時築城社会福祉センターに引越（令和6年2月）、完成後に（令和7年1月頃）再度椎田社会福祉センターに帰って、本格的に稼働いたします。

この間、地域の皆様方には大変迷惑をおかけすることになります。が、ご協力をお願い致します。

○フードバンク事業

余剰食品（生もの以外）の提供

をお願い致します。

○社会福祉法人連絡会

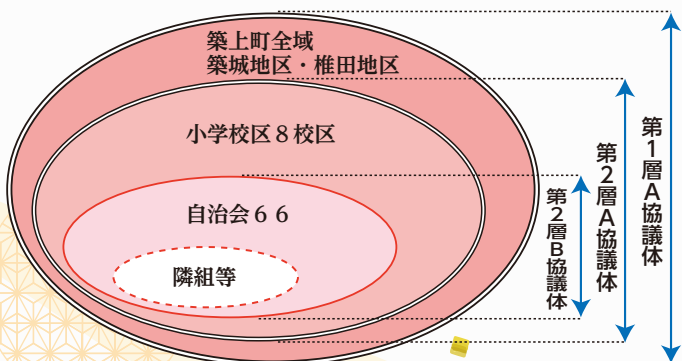
社会福祉施設を運営する法人が連携しながら地域貢献活動に寄与します。

○生活支援体制整備事業

包括的支援体制の構築を目指し町全域から自治会単位まで、それぞれで協議の場及びコーディネータを設けていただき、自分たちの地域でいつまでも住み続ける為の協働施策を話し合います。

生活支援体制整備事業、協議体及びコーディネーター配置図

地域福祉圏域のイメージ図（例）



広報部会 より

広報部会 吉田 富美代

“行こう・憩うサロン ソピア”へ!!

開催場所：ソピア

築上町男女共同参画ネット高齢者部会の“行こう・憩うサロン ソピア”が始まったのは、平成28年6月23日です。きっかけは、平成23年より築上町全域で始められた築上町社会福祉協議会の「一人暮らし高齢者見守りネットワーク」です。

地域で見守りをしている時、地域のサロンもいいが決められたスケジュールではなく、自分たちの趣味や他の地域の方たちとのコミュニケーションも取りたいという声が上がってきました。そこで、見守り協力員をしている築上町男女共同参画ネット役員、社協、社協の見守りの対象となっている方々といろんな意見交換をしながら発足したのがこのサロンです。名前の由来は、「行って、憩う」をかけています。

サロンでは、囲碁、マージャン、編み物、手芸やおしゃべりなど、自分の好きなことをしながら皆さん笑顔で先生になったり、生徒になったりといこやかに楽しんでいます。現在20名前後の方が参加され発足時からの方も多くいます。

2週間おきの木曜日(10:00~15:00)に開催していますので、あなたも参加してみませんか? 予約なしで誰でもOK。見知らぬ方との交流も良いものですよ!!

開催予定日は、1月4日、18日 2月1日、15日、29日、3月14日、28日となっています。



ふるさと回想

満嶋商会会長

満嶋 徹 (北九州在住 83歳)

毎年、城井川の土手を通って、お盆・彼岸の墓参りをしているが、城井川の川原は多くの雑木で覆われ、今は昔の面影はなく、人の気配すらもどこにも感じる事が出来ないのは悲しい。しかし現在の自分を育ててくれた、人情に厚い人々と城井川には、沢山の思い出がある。私は馬渡橋から70メートル下った付近の川原に生まれ、18歳迄過ごした。皆、貧しいながらも田畑の仕事も、暮らしも、子育ても、助け合って生活していたように思う。

今の城井川には、人の気配はどこにも感じることは出来ないが、子どもの頃の城井川は、川原の人達にとって、生活に欠かす事のできない場所だった。洗濯機がまだ普及してない時代、大人にとっての城井川は、近所の人達の洗濯場であったり、野菜を洗ったり、馬や牛を洗ったりと、井戸端会議ではなく、川端会議?の場所であったり、子供達は、魚を捕ったり、釣ったり、石切をしたり、飛び込んだり、泳いだり出来る楽しい遊び場であった。小・中学校時代の夏

休みは、朝から晩まで川遊びで日焼けし、真っ黒だったように思う。遊びを通して、いろんな事が見様見真似で身についた。

アユやフナ、ウナギやモズクガニの居場所や捕り方。モズクガニ捕りの先のとがった竹で編んだ大きなヤナヤ、味噌や練り餌を入れたカシ瓶、ウナギ取りの、ミミズを入れた竹製のてば、魚とりの網が無くて手ぬぐいの両端を二人で持ってフナやメダカをすくって捕ったり、ドンコやドジョウが逃げこんだ石に、もっと大きな石を当てて気絶して浮いてくる魚を捕ったり：と、川遊びの実践で学んだことは沢山ある。

中でも、小学校5・6年の頃、大きなナマズを浅瀬の岩場に追いかんだものの、ぬるぬるとしてなかなか掴まえることが出来なかったことをよく覚えている。四苦八苦して射止めた大物のナマズの大きくて、重くて、ぬるぬるしたあの感触と、あの時の感動は今でも忘れられない。今もこの手に残っている、あの日の「感触」「感動」は、「ふるさと回想」の一つである。



赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金への ご協力ありがとうございました

令和5年10月1日より全国一斉に実施されました「赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金」につきましては町民のみならず、ならびに関係各位のみならずより多大なるご寄付をいただきありがとうございました。寄せられた募金につきましては、地域福祉充実のために有効に使用させていただきます。

令和5年度 赤い羽根共同募金実績額

12月15日現在 (単位：円)

戸別募金	2,839,900
街頭募金	25,180
法人募金	225,672
学校募金	96,672
職域募金	50,000
資材募金	33,695
その他	50,148
合計	3,321,267

令和5年度 歳末たすけあい募金実績額

12月15日現在 (単位：円)

戸別募金	935,300
合計	935,300



みなさまから寄せられた赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金はこのような事業につかわれています。

《赤い羽根共同募金》

- ・ 高齢者福祉活動費
- ・ 高齢者等見守り事業費
- ・ 高齢者団体育成推進事業費
- ・ 障がい児・者福祉活動費
- ・ 障がい者団体育成推進事業費
- ・ 児童・青少年福祉活動費
- ・ 新入園児黄色い帽子贈呈事業費
- ・ 夏期学童保育事業費
- ・ 子育てサークル支援事業費
- ・ 子ども食堂事業費
- ・ その他福祉活動費
- ・ 入門・基礎手話講習会事業費
- ・ 男性料理教室事業費
- ・ 福祉入門教室事業費

《歳末たすけあい募金》

- ・ ふれあいフェスティバル事業費
- ・ 心配ごと相談事業費
- ・ 民生委員・児童委員活動推進事業費
- ・ ボランティア連絡協議会活動推進事業費
- ・ 社協だより発行事業費
- ・ 《歳末たすけあい募金》
- ・ 支援が必要な方への見舞金配分事業費
- ・ おせち料理配布事業費
- ・ 幼稚園・保育園児プレゼント配布事業費

赤い羽根

- 〔戸別〕 築上町66自治会

〔法人〕

- 株式会社 山内工務店
- 社会福祉法人 まもる会
- 介護老人保健施設 青海山荘
- 医療法人 古賀整形外科・内科医院
- 大阪屋精肉店
- 有限会社 川本屋
- 有限会社 西口住宅設備
- 有限会社 西口住宅設備
- 椎田太陽交通株式会社
- 眞光寺
- 専廣寺
- 法住寺
- 法然寺

- 株式会社 栄信建設
- 吉田食料品店
- 辻自動車工業株式会社
- 正善寺
- 西覚寺
- 宮野建設株式会社

〔築城地区〕

- 法龍寺
- 正光寺
- 神齒科医院
- 社会福祉法人 浄興寺 灯明会
- 特別養護老人ホーム 誠松園
- 片山医院
- 浄興寺
- 社会福祉法人 陽光福祉会
- 生活介護 陽光学園 おやまだ
- 社会福祉法人 恵愛会 就労移行・就労継続支援B型事業
- ワークランド・こすもす
- 社会福祉法人 恵愛会
- 生活介護支援事業 第二
- ワークランド・こすもす

- 社会福祉法人 恵愛会
- 共同生活介護事業所「こすもす」
- 社会福祉法人 博愛会
- 京築防災
- 坂本自動車整備工場

〔職域〕

- 航空自衛隊築城基地隊員一同

〔学校〕

- 西角田小学校
- 椎田小学校
- 小原小学校
- 葛城小学校
- 八津田小学校
- 築城小学校
- 下城井小学校
- 上城井小学校
- 椎田中学校
- 築城中学校
- 築城特別支援学校

〔幼稚園〕

- めぐみ幼稚園

〔保育園・保育所〕

- 山びこ保育園
- 椎田そらいろ保育園
- 八津田保育園
- 築城保育所
- 東築城保育園
- 第一青蓮保育園
- 第二青蓮保育園
- 光耀保育園

〔その他〕

- 築上町手をつなぐ親の会
- 椎田黄門会

〔歳末たすけあい〕

- 築上町66自治会



知らんやっ! 地域は宝の山やあ〜ん

生活支援コーディネーター 吉留 加奈



コスモス祭り (真如寺)



晴れ渡る青空のもと、色とりどりのコスモスが満開を迎えたコスモス畑を臨む真如寺集落センターで『第12回コスモス祭り』が開催され、自転車で元気よくやってきた小原小学校の子どもたち、真如寺の地域のみなさん総勢62名の方が参加されました。

お祭りでは、真如寺の食進会と婦人会のみなさんが作ったカレーライスが無料で振舞われ、炊き込みご飯、唐揚げやフライドポテト、たこ焼きも販売され、青年部のみなさんが塩加減よくアツアツの焼き鳥を焼き始めると、会場は美味しい香りでいっぱいになりました。当日は秋晴れで少し暑いぐらいの陽気だったので、かき氷が出店され、子どもたちに大好評でした。



集落センターのホールには、手芸教室の参加者の方が作られたドレスや洋服、バッグなどが展示され、振袖をリメイクしたドレスは海外でご結婚された親族のために作られたもので、ホールを一層華やかに彩っていました。

メインイベントの『お楽しみくじの抽選会』が始まると、みなさん券を片手にワクワクどきどきしている表情を浮かべながら自分の番号の発表を待つ姿があり、「あーっ!惜しい!」「当たったね、よかったね!」と声をかけ合いながらみんなで一喜一憂し、とても盛り上がりました。

参加者の方が「みんな知っている者同士、こうして皆で集まってお互いの顔が見れる、元気なのがわかるということはいいいこと。」とお話され、お祭りを通して顔の見える関係をつくり、みんなで過ごす時間が地域の活力にもなっているのだと思いました。

ひとりひとりの暮らしを大事にし、節目節目に楽しいことをみんなで分かち合う、真如寺のみなさんの魅力がたくさん詰まった『コスモス祭り』を満喫させていただいた一日でした。

お祭りが終わってからコスモスを分けて頂いたので、自愛の家に飾らせていただきました。来られた方々が満開のコスモスを見て「わぁ!きれいやね。」「いろんな色がある!どこのコスモス?」「うちの近くにも咲いとるよ。」と会話が弾み、みなさん自然と笑みもこぼれていました。

真如寺のコスモスが、自愛の家に来られた方々にも秋の訪れとひとときの安らぎを届けてくれました。

「築上町協議体」会議報告

第2回目となる会議では、この協議体の役割や方向性について意見交換しました。

高齢者等の生活支援については、生活・買い物・外出・孤立に関する各項目ごとに、気付いたことや困りごと等の声をあげていただき、移動販売の必要性、コミュニティバスの現状、移動手段などについて情報共有し、意見交換を行いながら高齢者等の困りごとを抽出しました。



あけましておめでとうございませう。令和6年の元旦、みなさんは何を一番に考えられましたか。わたしは心身ともに健康で穏やかに過ごせること。それぞれが自分の力と家族や周囲の方々の支えで生活できることを感謝する縁にしたい。今、世界では紛争や災害で先の見えない人たちが多くいます。それでも未来にわずかな光を求めて他人の痛みにも共感し、過ごしやすい社会を目指して行けば、心の平穏を感じ、平和な世の中が来るのではと祈念します。



編集後記

広報部会
畦津 多恵子